

五泉市こども市議会会議録

令和6年11月2日



五泉市こども市議会

○総務課長補佐（嘉村 雅和君） 皆さま大変お待たせいたしました。本日は「五泉市こども市議会」にご参加をいただきまして誠にありがとうございます。

私は本日のこども市議会の開会までの進行役を務めさせていただきます、総務課の嘉村と申します。よろしくお願いいたします。

それでははじめに、この度の「五泉市こども市議会」の主催者を代表いたしまして、田邊市長がごあいさつを申し上げます。

田邊市長はご登壇ください。

○市長（田邊 正幸君）

皆さんこんにちは。今ほど紹介がありました、市長の田邊正幸であります。

こども議員の皆さん、ようこそ議場にお越し頂き、ありがとうございます。

また、ご来賓の皆さん初め、たくさんの市民の皆様にお越し頂きまして、大変ありがとうございます。

今日のこども市議会は五泉市の今年度の大きな取組としております「こどもどまんなかづくり」の一つとして開催をしております。こどもたちの意見を直接聞き、それらできるだけ市の政策に取り入れ、「こどもどまんなか」のまちづくりを進めたいと考えております。

今日、市政一般に関する質問といたしましては、こども議員の皆さんから様々な分野の大変すばらしい質問を頂いております。市といたしましては、連日、関係課と話し合いをし、できるだけ分かりやすく、誠実にお答えさせていただき、こども議員の皆さんと一緒に議論をしていきたいと思っております。

また、この夏、7月の21日に「こどもワークショップいけんのひろば」を開催し、新潟医療福祉大学の大学生と一緒に、自分たちの周りの身近なテーマについて、意見やアイデアを出し合ってもらい、提言としてまとめていただきました。後ほど議題として「こどもワークショップいけんのひろば」における提言の反映をこども議員の皆さんからご審議頂く予定にしておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

こども議員の皆さんからの質問と「こどもワークショップいけんのひろば」の提言については、今後作成する「五泉市こども計画」、関連する事業に活かしてまいります。

五泉市の将来のため、こどもたち、そして市民の皆さんと一緒に、「こどもどまんなかづくり」を進めていきたいと考えております。

本日のこども市議会の開催に当たりましては、多大なご尽力を頂きました保護者の皆様、ご家族の皆様並びに学校をはじめ、関係者の皆さん方に心から感謝を申し上げます。開会に当たりまして、ご挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。

○総務課長補佐（嘉村 雅和君） 続きまして、本日、お忙しい中、五泉市こども市議会にお越しいただきましたご来賓の皆様をご紹介します。

はじめに、五泉市議会議長 林 茂 様

続きまして、五泉市教育委員会委員 本間 寛和 様

同じく 藤木 由佳子 様

同じく 小出 園子 様

続きまして、五泉市校長会会長 山崎 浩志 様

続きまして、五泉市PTA連絡協議会会長 石田 丈 様

それでは、ご来賓の皆様を代表いたしまして 五泉市議会議長 林 茂 様よりごあいさつを頂戴いたします。

林議長におかれましては、ご登壇くださいますようお願いいたします。

○五泉市議会議長（林 茂君）

どうも皆さんこんにちは。こども市議会の開催、誠におめでとうございます。

さらなるこの五泉市がですね今置かれてる現状、そういうのについてご質問もあらうかと思います。

皆さんご存じのとおり五泉市が合併してから19年になるんですね。そういう中で、この市町村もそうですけども、人口減少がかなり激しく進んでいる。当初5万8400人あった人口が、今、4万5500くらいになったのかな。大体1万3000人くらい減ってる。この20年間で。そういう中で、逆に世帯数が増えてるんですね。大体世帯数が1万9015件くらいかな。世帯数が1200、300件増えてる。どういうことかということ、やはりこの空き家が多くなったし、また、若い者が一緒になると結婚すると、お父さんお母さんと、離れて暮らす。そういう現象が起きてる。そういう中で、地域の中のコミュニケーションもやや薄れてきている。

そして、皆さんご存じのとおり、激変するこの天候。線状降水帯なんていうことは今までなかったんですね。そういう中でいかにこの町の市民の生命と財産を守っていくか。こういうのにやはり一生懸命議会も取り組んでおるわけでありまして。大体この、線状降水帯。大体、昔は1時間に120ミリなんていうのは余りなかった。大体、排水溝は、1時間にそうだな大体48ぐらいの雨量に対応するように出来ている。それが大体、今、先ほど申し上げましたけども異常気象のおかげで、果たして今までの通りに、そういうふうな対応できるか。とにかく五泉市387町内あります。山際に住んでる人もいれば、町の中に住んでいる人もいます。また川沿いに住んでいる人もいます。そういう人の生命と財産をいかに守っていくか。そしてこの人口減少の問題の中で、今後の五泉市はどうあるべきか、こういうのを、やはりいろいろと市当局に意見をぶつけながら、このまちづくりに進んでおるところであります。

今日は皆さんの活発なる意見をご期待を申し上げまして、簡単でありますけどもご挨拶といたします。おめでとうございます。

○総務課長補佐（嘉村 雅和君） 林議長、ありがとうございました。

続きまして、自己紹介を行います。

自己紹介は、市内各小・中学校から選出されましたこども市議会議員の皆さんからお

願いいたします。議席番号の1番の方から順番にその場でご起立のうえ、議席番号、学校名、学年、お名前をお願いします。

それでは、議席番号1番の愛宕小学校 山口 木乃香さんからお願いします。

○1番（山口 木乃香君） 議席番号1番 愛宕小学校6年 山口木乃香です。よろしくお願いします。

○2番（菅原 朱佑君） 議席番号2番 大蒲原小学校6年 菅原朱佑です。よろしくお願いします。

○3番（佐藤 綾音君） 議席番号3番 川東小学校6年 佐藤綾音です。よろしくお願いします。

○4番（中野 勝吏君） 議席番号4番 川東中学校1年 中野勝吏です。よろしくお願いします。

○5番（塩原 巧弥君） 議席番号5番 五泉北中学校3年 塩原巧弥です。よろしくお願いします。

○6番（井上 穂風君） 議席番号6番 五泉小学校6年 井上穂風です。よろしくお願いします。

○7番（名取 忍君） 議席番号7番 五泉特別支援学校中学部3年 名取忍です。

○8番（二宮 蒼馬君） 議席番号8番 五泉東小学校 二宮蒼馬です。よろしくお願いします。

○9番（小柳 龍海君） 議席番号9番 五泉南小学校6年 小柳龍海です。お願いします。

○10番（宮川 開君） 議席番号10番 巢本小学校6年 宮川開です。よろしくお願いします。

○11番（中野 恭一君） 議席番号11番 橋田小学校5年 中野恭一です。よろしくお願いします。

○12番（宇田 瑛翔君） 議席番号12番 村松桜中学校3年 宇田瑛翔です。よろしくお願いします。

○13番（鈴木 一颯君） 議席番号13番 村松小学校6年 鈴木一颯です。お願いします。

○総務課長補佐（嘉村 雅和君） こども市議会議員のみなさん、ありがとうございます。

続きまして、五泉市側の出席者の自己紹介をいたします。それでは、市長からお願いします。

○市長（田邊 正幸君） 市長の今はありませんけども橋田中学校出身の田邊正幸です。よろしくお願いします。

○副市長（佐藤 豊君） 副市長の佐藤豊と申します。川東中学校出身で、小学校は今無き大蔵小学校です。どうぞよろしくお願いします。

- 教育長（伊藤 順子君）** 五泉市教育長の伊藤順子と申します。出身は村松地区なんですけど、小学校は今は愛宕小学校になっていますが、昔は東小学校でした。中学校は今の村松桜中学校で、昔は愛宕中学校でした。両方とも、今なくなってしまったのでちょっと寂しいですけど、皆さん頑張ってください。
- 会計管理者兼ねて会計課長（飯利 義孝君）** 会計管理者と会計課長を兼ねております飯利 義孝です。どうぞよろしくお願いをいたします。
- 支所長兼ねて地域振興課長（安中 浩之君）** 村松支所長と地域振興課長をしております安中浩之と申します。よろしくお願いいたします。
- 総務課長（石川 聡君）** 総務課長の石川聡といいます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 企画政策課長（塚野 一也君）** 企画政策課長の塚野一也といいます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 財政課長（片野 謙輔君）** 財政課長の片野謙輔です。どうぞよろしくお願いいたします。
- 税務課長（林 学君）** 税務課長の林学と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
- 市民課長（風間 恵理子君）** 市民課長の風間恵理子と申します。よろしくお願いいたします。
- 健康福祉課長（林 浩之君）** 健康福祉課長の林浩之です。よろしくお願いいたします。
- こども家庭課長（杵淵 香奈恵君）** こども家庭課長の杵淵香奈恵と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
- 高齢福祉課長（塚野 美由紀君）** 高齢福祉課長の塚野美由紀です。よろしくお願いいたします。
- 都市整備課長（塚野 亨君）** 都市整備課長の塚野亨と申します。よろしくお願いいたします。
- 上下水道局長（渡邊 宏君）** 上下水道局長の渡邊宏と申します。よろしくお願いいたします。
- 学校教育課長（井上 雅夫君）** 学校教育課長の井上雅夫と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
- 生涯学習課長（風間 章君）** 生涯学習課長の風間章と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
- スポーツ推進課長（吉田 政博君）** スポーツ推進課長の吉田政博と申します。よろしくお願いいたします。
- 図書館長（廣川 規之君）** 図書館長の廣川規之と申します。よろしくお願いいたします。
- 農林課長（渡辺 彰君）** 農林課長の渡辺彰と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○**農業委員会事務局長（松尾 直幸君）** 農業委員会事務局長の松尾直幸と申します。よろしくお願いいたします。

○**環境保全課長（小島 健君）** 環境保全課長の小島健と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○**商工観光課長（中村 康輔君）** 商工観光課長をしております中村康輔と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○**監査委員事務局長（鈴木 寧君）** 監査委員事務局長の鈴木寧と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○**消防長（山田 幸平君）** 消防本部消防長 山田幸平と申します。よろしくお願いいたします。

○**消防署長（渡辺 伸也君）** 消防署長の渡辺伸也です。よろしくお願いいたします。

○**議会事務局長（清水 康之君）** 議会事務局長の清水康之です。よろしくお願います。

○**総務課長補佐（嘉村 雅和君）** 自己紹介につきましては以上となります。

それではご来賓の皆さまにおかれましては、恐れ入りますが、係員がご案内しますので、傍聴席にご移動くださいますようお願いいたします。

〔来賓は傍聴席に移動〕

○**総務課長補佐（嘉村 雅和君）** 続きまして、五泉市こども市議会の議長の選出についてであります。本来ですと、議員の皆さんの選挙により議長を選出するところですが、議事運営の都合により、あらかじめ午前中の打ち合わせの際に、決定をさせていただきました。

また、本来は、議長、副議長を各1名選出し、議事の進行にあたるものではありませんが、本日はできる限り役割を分担し、多くの経験をしていただきたいという理由から、A B C 3つのグループに分けて各グループから1名議長を選出し、議事を進行していただくことといたしましたので、ご了承くださいますようお願いいたします。

Aグループは愛宕小学校、大蒲原小学校、川東小学校、川東中学校の4名で、議長を務めていただくのは川東中学校の中野勝吏さんです。

Bグループは五泉北中学校、五泉小学校、五泉特別支援学校、五泉東小学校の4名で、議長を務めていただくのは五泉北中学校の塩原巧弥さんです。

Cグループは五泉南小学校、巢本小学校、橋田小学校、村松桜中学校、村松小学校の5名で、議長を務めていただくのは村松桜中学校の宇田瑛翔さんです。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、1番目に議長を務められますBグループの五泉北中学校の塩原巧弥さんは、議長席にお進みください。

〔議長が議長席に着く〕

○**総務課長補佐（嘉村 雅和君）** それでは、ただいまからこども市議会議長の議事進行によりまして、五泉市こども市議会を進めさせていただきたいと思えます。

それでは、塩原さん、よろしくお願いいたします。

第 1 号

1 1 月 2 日（土曜日）

五泉市こども市議会会議録 第1号

令和6年11月2日（土曜日）

議事日程 第1号

令和6年11月2日（土曜日）午後 1時19分開会・開議

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期日程について
- 第 3 市政一般に関する質問
- 第 4 議第1号 こどもワークショップいけんのひろばにおける提言の反映について
- 第 5 講評

本日の会議に付した事件

- 日程第 1 会議録署名議員の指名…………… 9
- 日程第 2 会期日程について…………… 9
- 日程第 3 市政一般に関する質問…………… 9
 - 1番 愛宕小学校 山口 木乃香 君…………… 9
 - 2番 大蒲原小学校 菅原 朱 佑 君…………… 11
 - 3番 川東小学校 佐藤 綾 音 君…………… 13
 - 4番 川東中学校 中野 勝 吏 君…………… 14
 - 5番 五泉北中学校 塩原 巧 弥 君…………… 16
 - 6番 五泉小学校 井上 穂 風 君…………… 18
 - 7番 五泉特別支援学校 名取 忍 君…………… 19
 - 8番 五泉東小学校 二宮 蒼 馬 君…………… 21
 - 9番 五泉南小学校 小柳 龍 海 君…………… 22
 - 10番 巢本小学校 宮川 開 君…………… 24
 - 11番 橋田小学校 中野 恭 一 君…………… 25
 - 12番 村松桜中学校 宇田 瑛 翔 君…………… 26
 - 13番 村松小学校 鈴木 一 颯 君…………… 28
- 日程第 4 議第1号 こどもワークショップいけんのひろばにおける提言の反映について…………… 29
- 日程第 5 講評…………… 30

出席議員（13名）

- 1番 愛宕小学校 山口 木乃香 君
- 2番 大蒲原小学校 菅原 朱 佑 君

3番	川 東 小 学 校	佐 藤 綾 音 君
4番	川 東 中 学 校	中 野 勝 吏 君
5番	五 泉 北 中 学 校	塩 原 巧 弥 君
6番	五 泉 小 学 校	井 上 穂 風 君
7番	五 泉 特 別 支 援 学 校	名 取 忍 君
8番	五 泉 東 小 学 校	二 宮 蒼 馬 君
9番	五 泉 南 小 学 校	小 柳 龍 海 君
10番	巢 本 小 学 校	宮 川 開 君
11番	橋 田 小 学 校	中 野 恭 一 君
12番	村 松 桜 中 学 校	宇 田 瑛 翔 君
13番	村 松 小 学 校	鈴 木 一 颯 君

欠席議員（なし）

地方自治法第121条の規定により、説明のため議場に出席した者。

市 長	田 邊 正 幸 君	副 市 長	佐 藤 豊 君
会 計 管 理 者 兼	飯 利 義 孝 君	教 育 長	伊 藤 順 子 君
会 計 課 長			
総 務 課 長	石 川 聡 君	企 画 政 策 課 長	塚 野 一 也 君
財 政 課 長	片 野 謙 輔 君	税 務 課 長	林 学 君
市 民 課 長	風 間 恵 理 子 君	環 境 保 全 課 長	小 島 健 君
健 康 福 祉 課 長	林 浩 之 君	高 齢 福 祉 課 長	塚 野 美 由 紀 君
こ だ も 家 庭 課 長	杵 淵 香 奈 恵 君	農 林 課 長	渡 辺 彰 君
商 工 観 光 課 長	中 村 康 輔 君	都 市 整 備 課 長	塚 野 亨 君
上 下 水 道 局 長	渡 邊 宏 君	学 校 教 育 課 長	井 上 雅 夫 君
生 涯 学 習 課 長	風 間 章 君	ス ポ ー ツ 推 進 課 長	吉 田 政 博 君
図 書 館 長	廣 川 規 之 君	監 査 委 員 事 務 局 長	鈴 木 寧 君
農 業 委 員 会	松 尾 直 幸 君	消 防 長	山 田 幸 平 君
事 務 局 長			
消 防 署 長	渡 辺 伸 也 君	村 松 支 所 長 兼	安 中 浩 之 君
		地 域 振 興 課 長	

職務のため議場に出席した事務局職員。

局 長	清 水 康 之 君	係 長	高 岡 昌 代 君
係 長	渡 邊 友 美 君		

○議長（塩原 巧弥君） 開会前に申し上げます。

総務課及び報道機関並びに保護者の皆様より、議場内の写真撮影及びビデオ撮影の許可の願いがありましたので、この際、これを許可いたします。

以上です。

午後 1時19分 開会・開議

○議長（塩原 巧弥君） ただいまの出席議員は全員でありますので、五泉市こども市議会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

私は、ただいまより議長を務めさせていただきます、五泉北中学校の塩原巧弥と申します。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（塩原 巧弥君） 日程第1、会議録署名議員の指名であります。会議規則第88条の規定により、議長指名といたします。

よって、1番、山口木乃香君、2番、菅原朱佑君、3番、佐藤綾音君を指名いたします。

日程第2 会期日程について

○議長（塩原 巧弥君） 次に、日程第2、会期日程ですが、会期は本日1日間とし、議事日程についてはお手元に配布の日程表のとおりとしたいと思います。ご異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（塩原 巧弥君） ご異議なしと認めます。

よって、さよう決定いたしました。

日程第3 市政一般に関する質問

○議長（塩原 巧弥君） 次に、日程第3、市政一般に関する質問です。

これより一般質問を行います。はじめにAグループから始めます。

議席番号順に質問を許します。

はじめに議席番号1番、山口木乃香君。

○1番（山口 木乃香君） それでは、愛宕小学校6年 山口木乃香が質問します。

テーマは、「五泉市の魅力を活かした施設やイベントについて」です。

私は、みんなが楽しめるような五泉市の魅力を活かした施設やイベントがもっと増えると良いと考えました。

五泉市には、きれいでおいしい水やそれを使った野菜作りも盛んで、五泉三美人も有名です。他にも、五泉にはニットもあり、これらのものをもっと他の地域の人にも知ってもらいたいです。

より多くの人に知ってもらうことで、五泉市を訪れる人も増えると思いました。

今、五泉市には、ラポルテ五泉があり、小さい子どもも楽しめる遊び場、地域のことがわかる施設となっていますが、もっと大人から子どもまで楽しめる施設が増えるといいなと思います。他にも、ひゃんで花火大会やお祭りなどのイベントがもっとあるとたくさんの方が五泉市に来て、五泉市も盛り上がると思います。

そこで、今、五泉市では、五泉市以外の人を対象にした五泉をアピールするようなイベントを計画しているのか、また、私たち小学生にもできることはないか、教えてください。

以上で壇上からの質問を終わります。

○議長（塩原 巧弥君） 田邊市長。

○市長（田邊 正幸君） ただいまの山口木乃香議員の「五泉市の魅力を活かした施設やイベントについて」のご質問についてお答えいたします。事前に配布いたしました「五泉四華の花めぐり手帳」をご覧ください。

こちらの表紙にありますとおり「五泉四華 花めぐり手帳」というものであります。五泉四華とは、五泉市内で咲く水芭蕉、桜、チューリップ、ぼたんの4つの花のことで、「春の花シリーズ」として、五泉市内の人や市外の人からも親しまれています。

花シリーズのトップバッターは水芭蕉です。春の訪れを告げる花で、白い苞に包まれた見た目から「白い妖精」と呼ばれ、多くの方が菅名岳の麓にある水芭蕉公園を訪れています。

2番手は桜です。日本さくら名選100選に選ばれた村松公園では、桜の咲く頃には「村松公園さくらまつり」が開催をされます。菅名岳の中腹には、小山田の彼岸桜樹林があり、国の天然記念物に指定をされています。

3番手はチューリップです。巢本地区一本杉地内のチューリップ畑では、「五泉市チューリップまつり」が開催をされ、約150万本のチューリップが咲きそろい、畑いっぱいにチューリップの絨毯が広がっていますよね。

「ラポルテ五泉」の都市の広場にもチューリップの回廊「ルデフル」が登場をします。

花シリーズのアンカーは、ぼたんです。五泉市は、日本の中の2大生産地として有名で、東公園内の「ぼたん百種展示園」では、ぼたんが咲く頃に「五泉市花木まつり」が行われます。ぼたん百種展示園の隣には、平成30年に「しゃくやく園」がオープンをし、ぼたんが咲き終わる頃から5月の下旬まで花シリーズが楽しめることができます。

13ページをご覧ください。五泉市以外の人達にもたくさん訪れていただけるように、花シリーズの他に、いろんなイベントを開催をしています。例えば、美肌効果。肌がつやつやになる効果などである咲花温泉で毎年6月に「水中花火大会」、秋の収穫をお祝

いする五泉の名産さといもの「さといもまつり」や明日開催される「農業まつり」、五泉は全国でも有名なニットの産地であります、今年も11月の17日18日に行われる「五泉ニットフェス」などがあります。

このように、いろいろなイベントを行っていますが、今年は新たに皆さんも行かれたのかな。「五泉ひゃんで花火大会」の当日に「五泉水かけ祭り」が加わり、五泉の夏を熱く盛り上げてくれました。

そして、五泉を代表する観光施設として「ラポルテ五泉」があります。ラポルテ五泉では、大人からこどもまで楽しめるイベントや講座を毎週のように開催をされていて、たくさんのお客さんから利用していただける人気のスポットになっていますよね。

五泉市へ来てもらうためには、まずは、五泉市を知っていただくことが大切ですので、山口議員のお友達や、家族、親戚の方などに五泉市のPRをぜひお願いしたいと思います。私は毎週月曜日12時30分からのFM新潟「五泉に決めよう！ひゃんでいいまち」のラジオや新聞、テレビなどで、一生懸命に五泉市のPRしていきますので、みなさんと一緒になって五泉を盛り上げていきましょう。

以上、山口議員のご質問にお答えいたしました。ありがとうございました。

○議長（塩原 巧弥君） 山口議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○1番（山口 木乃香君） 五泉市には、1年間で何人の観光客が来ますか。

○議長（塩原 巧弥君） 商工観光課長。

○商工観光課長（中村 康輔君） はい、お答えいたします。昨年度、令和5年度なりますけども、およそ91万人ほどお越し頂きました。その前の令和4年度につきましては、約90万人ほどでございます。

○議長（塩原 巧弥君） 山口議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○1番（山口 木乃香君） ありません。

○議長（塩原 巧弥君） 次に、議席番号2番、菅原朱佑君。

○2番（菅原 朱佑君） それでは、大蒲原小学校6年 菅原朱佑が質問します。

テーマは、「人口減少について」です。

ぼくは、五泉市の子ども的人数が減ってきていることが問題だと考えています。この問題を解決するために、次のことを提案します。

1つ目は、もっと五泉市の自然のよさを生かした取り組みをするとよいと思います。五泉市は、田や畑が多く、自然も豊かです。ですが、産業が発展している町に引っ越ししてしまっているという状況があります。だからといって、その自然をこわすのではなく、豊かな自然を生かして、公園や運動場などを作ったらいいと思います。子どもが喜ぶ施設を作るとは、子どもを育てやすい環境にもつながり、五泉市に人が集まってくるはずですよ。

2つ目は、五泉市の魅力をアピールし、たくさんの人に伝えることです。ポスターなどを作って市内の人に、インターネットを活用して市外の人にも五泉市のよさや取り組

みを知ってもらい、人口を増やし五泉市や大蒲原を守っていきたいです。

五泉市では、人口減少についてどう考え、どんな取り組みを行っていますか。

以上で壇上からの質問を終わります。

○議長（塩原 巧弥君） 田邊市長。

○市長（田邊 正幸君） 菅原朱佑議員のご質問にお答えいたします。

テレビやインターネットなどのニュースで、皆さんも聞いたことがあると思いますが、人口減少は五泉市だけでなく、全国的に大きな問題になっています。

その原因はいろいろありますが、特に五泉市などの地方の人口の減少は、東京や埼玉、神奈川などに引っ越す人が多いため、これは、五泉市としても、とても深刻な問題と思っています。

人口減少問題は、10 年も前から言われていましたので、なんとか五泉市の人口が減らないように、4つの対策を立てて取り組んでいました。

1つ目は「妊娠・出産・子育て・教育など、未来の世代を育てる取り組み」、2つ目は「産業や観光を強化する取り組み」、3つ目は「五泉に住んでもらうため、五泉の魅力をPRする取り組み」、4つ目は「市民の安全で健康な暮らしを守る取り組み」であります。

先ほどお話ししましたとおり、人口減少問題は、全国的にも大きな問題であるため、1つの市で取り組んでもすぐに結果が出るものではありませんが、五泉市に住んでいる人達には、これからも住み続けてもらえるよう、引き続き、あらゆる対策を講じて対策に取り組んで参ります。

また同時に、私は五泉市の外に住んでいる人に対して、観光や旅行などで五泉市に来てもらう人を増やす取り組みも、とても大事だと思っています。

菅原議員のお話にありましたとおりポスターやインターネットも大切です。五泉市に来て、遊んで、楽しんで、美味しいものを食べて、五泉市を気に入ってくれて、好きになってくれる「五泉のファン」が増えてくれたら、とても嬉しいですよね。

「五泉のファン」になってくれれば、五泉を応援する人や、実際に五泉市に引っ越ししてくる人が増えてくると考えています。

皆さんもからも、ぜひ五泉市に住み続けてもらいたいと思いますので、皆さんを含めた、いろいろな人達から住んでもらえるよう、「訪れてよし、住んでよし」新潟県一番のまちづくりを、今までも、そしてこれからも、情熱をもって進んでいくつもりであります。

以上、菅原議員のご質問にお答えいたしました。ありがとうございました。

○議長（塩原 巧弥君） 菅原議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○2番（菅原 朱佑君） 先ほど田邊市長が五泉のファンになってくれる人が多くなると嬉しいと言っていましたが、今後については、五泉市の魅力をアピールするために、公園や運動場などの施設をつくることは考えていますか。

○議長（塩原 巧弥君） 田邊市長。

○市長（田邊 正幸君） はい。ありがとうございます。いろいろスポーツでやはり五泉を訪れる人がたくさんおりますので、例えば夏にはバレーボールだったりバスケットだったり野球だったり、菅原議員も野球に親しまれていると思いますけど、たくさんの方が訪れてくれますよね。

今、大分運動施設が古くなっていますので、まずそういったところを整備したり、将来的にはこれからのスポーツを楽しめるものをですね、私は作ってまいりたいというふうに思っております。

皆さんもご承知のとおり、オリンピックの競技も大分変わってきております。今まで、グループで行っていた競技が、個人一人一人のスポーツになってきているのも現実でありますので、将来の子どもたちにきちっと合う、力が発揮できるスポーツをこれから未来を見通しながら整備をしていきたいというふうに思います。

ありがとうございました。

○議長（塩原 巧弥君） 菅原議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○2番（菅原 朱佑君） ありません。

○議長（塩原 巧弥君） 次に、議席番号3番、佐藤綾音君。

○3番（佐藤 綾音君） それでは、川東小学校6年 佐藤綾音が質問します。

テーマは、「福祉について」です。

私の住んでいる市には、病院が1つしかなくて困っています。市の中には、高齢者がたくさんいます。そして問題は、高齢者が少し遠い病院まで行くのが大変ということです。車で行くとしても安全運転ができるか、迷惑をかけないか心配ですよね。

そこで、私は案を思いついたので紹介します。まず1つは、今で言う、ウーバーイーツのように、診察して欲しい高齢者の家に行くという案です。看護婦さんが行くといいと思います。2つ目はお金がかかってしまうかもしれませんが、身近なところに医者の人を置くということです。詳しく言うと、各市町村、または市内にということです。

このように、市内には、困っている高齢者もいるかもしれません。お金はかかってしまうけど、健康のためにこのような取り組みをして欲しいと思っています。困っている人を一人でも早くなくすためにです。市長はどう考えますか。

これで壇上からの質問を終わります。

○議長（塩原 巧弥君） 田邊市長。

○市長（田邊 正幸君） 佐藤綾音議員のご質問にお答えします。

はじめに、五泉市内の病院についてお話いたします。

五泉市には五泉中央病院と南部郷厚生病院という2つの大きな病院と21か所の診療所いわゆる町のお医者さんですけども、それが21、19か所の歯科医院、歯医者さんですけどもそれがあります。

市民の皆さんは、これらの大きな病院や診療所で診察をしてもらい、お薬をもらった

りしていますが、自宅の近くに病院等がなく、遠くまで車やバス、タクシーで行かなければならない人も多くいらっしゃいます。また、ベッドに寝たきりの人や、足や体が不自由で移動が大変の人もいらっしゃいます。

そのような人たちに対して、お医者さんと看護師さんが自宅を訪問して診療することを「往診」や「訪問診療」と言いますが、これを行っている診療所や歯科医院が五泉市内には多くあります。

このように、自宅にお医者さんや看護師さんに来てもらうことが、「具合が悪くなってもいつでも診療してもらえる」という安心感につながりますよね。

病院や診療所に行けなくて困っている高齢者の人を一人でも少なくなるように、これからいろいろな取り組みをしていきたいと思います。

以上、佐藤議員のご質問にお答えいたしました。ありがとうございました。

○議長（塩原 巧弥君） 佐藤議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○3番（佐藤 綾音君） ありません。

○議長（塩原 巧弥君） 次に、議席番号4番、中野勝吏君。

○4番（中野 勝吏君） それでは、川東中学校1年 中野勝吏が質問します。

テーマは、「災害に強い五泉市を作るために」です。

2011年、僕が生まれる2か月前、東日本大震災がありました。今年1月1日には能登半島地震がありました。また2011年には新潟福島豪雨がありました。近年、地震や大雨で、不安を感じている市民は多いと思います。

市内の各学校・保育施設など、様々な所で、避難訓練はしていると思いますが、もっと防災についての活動に力を入れ、もしもの時に役立つ知識や技能を身につける機会があれば良いと思います。市民防災訓練などの地域住民と行政とが行う訓練や、各世帯での家の安全箇所の確認、災害時の家族での役割を決めておくことへの呼びかけなどを実施することにより、災害に強い五泉市をつくる事ができると思うのですが、五泉市では現状、この様な災害に備える取り組みを行っていたり、実施する予定はあるのでしょうか。

以上で壇上からの質問を終わります。

○議長（塩原 巧弥君） 田邊市長。

○市長（田邊 正幸君） 中野勝吏議員のご質問にお答えします。

五泉市での災害に備える取り組みについてですが、五泉市では毎年、場所を替えて地域防災訓練を行っています。今年は、9月の29日に五泉東小学校で行い、地域住民の方、全校生徒、関係機関など、約700人の人が訓練に参加をされました。

地域住民の人たちは、避難所である小学校まで避難する訓練に参加し、今日は二宮議員もお越しであります。五泉東小学校の児童は、バケツリレーによる初期消火訓練や関係機関による備蓄品の仕分け、炊き出しなどを行いました。その他にも道路復旧訓練やヘリコプターによる救助者の吊り上げ訓練なども行われ、地域住民の人たちにとって、

災害に備える良い機会になったと思います。

また、五泉市では市民の皆さまが災害に備えることができるように、様々な取り組みを行っています。

その1つが議員の皆さんのお手元に配布いたしました、この「五泉市災害ハザードマップ」をご覧ください。「ハザードマップ」の23ページ、中野議員が通う川東中学校周辺が載っていると思います。川東中学校の場所は色がついていないですが、周辺の集落には色がついていると思います。これは、市内を流れる阿賀野川や早出川など大きな川が大雨で水があふれた時に、どの範囲でどれくらいの深さに水に浸かってしまうかを表していて、色が濃くなるほど深くなるわけです。山が近い地域では、土砂くずれの発生の危険がある場所も地図に書かれています。災害に備えるためには、自分のいる場所がどんな危険性があるかを事前に確認しておくことがとても重要です。まだ「ハザードマップ」を見たことが無い人は、ぜひ自分の家や学校がある場所の危険度を確認してみてください。

次に、もう1つ皆さんに配ってあります「わたしの避難計画 マイタイムライン」をご覧ください。

これは、大雨や台風が接近した際、自分自身の避難行動をあらかじめ具体的に確認し、いざという時のために作成しておく記入用紙です。最後の2ページをご覧ください。記入例が載っていますが、赤い点線の枠には、避難する前に事前にできることや災害の発生した時の避難のタイミング、家族一人ひとりの役割や持ち出し品などについて、日頃から各家庭で話し合って作成するようにお願いをしております。やっぱり実際、自分でここに記入することが自分の身になりますね。ぜひともご家族で書いてみてください。

「ハザードマップ」や「わたしの避難計画」は市内のすべてのご家庭に配布をしております。学校や地域からの依頼により、防災出前講座も行っていますので、防災について学習する機会として是非ご利用いただきたいと思います。

五泉市では近年、大きな災害が無いことから、防災について市民の皆さんの意識の低さが課題となっています。これからも防災について考える機会となるように、地域の防災訓練や防災出前講座などを継続して行い、災害に強いまちづくりを進めていきたいと思っています。

以上、中野議員のご質問にお答えいたしました。ありがとうございました。

○議長（塩原 巧弥君） 中野議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○4番（中野 勝吏君） 先ほどの五泉市のハザードマップや私の避難計画などの紙や本などを、地域の人に広める活動を考えておりますか。

○議長（塩原 巧弥君） 総務課長。

○総務課長（石川 聡君） 先ほど市長からもありましたように、職員が地域に出向いて、防災についてお話しする機会を、防災出前講座として行っております。

令和5年度におきまして、そのような活動を11回行い、370人の方にお話をさせてい

いただきました。令和6年度、これまでにつきましては、13回、350人の方にお話をしているところであります。

今後も引き続き、防災出前講座等を通じて、市民の皆さんに周知していきたいと思っております。

○議長（塩原 巧弥君） 中野議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○4番（中野 勝吏君） ありません。

○議長（塩原 巧弥君） 以上で、Aグループ4人の市政一般に関する質問が終わりましたので、しばらく休憩いたします。

午後 1時50分 休憩

午後 2時00分 再開

〔議長が交代し宇田議長が議長席に着く〕

○議長（宇田 瑛翔君） 再開いたします。

私は、ただいまより議長を務めさせていただきます村松桜中学校の宇田瑛翔と申します。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

それでは休憩前に引き続きまして、Bグループの市政一般に関する質問を行います。はじめに議席番号5番、塩原巧弥君。

○5番（塩原 巧弥君） それでは、五泉北中学校3年 塩原巧弥が質問します。

テーマは、「自然環境・ごみの分別」です。

家庭科の授業で、「五泉市はごみの分別が遅れている」という話を聞いたことがあります。自分も市外の祖母の家に行くと、ごみの分別が五泉市と違って驚いたことがあります。ごみの焼却の際に出る二酸化炭素や埋め立て処理場の利用可能年数などが問題化されていますが、五泉市は分別の改定や環境問題への対策は行うのでしょうか。また、五泉市は現状どのくらいのごみをリサイクルできているのでしょうか。五泉市はとても自然が豊かなので、そこをアピールして市を盛り上げていくべきだと思います。そのためにも、今ある自然を10年、100年後までつないでいくことが必要です。そこで私は自然について考えるために、身近なごみの分別から自然を考えたいと思いました。なので、分別の改定や環境問題への対策をがんばってほしいです。現在、対策していることや対策を予定していることがあれば教えてください。

以上で壇上からの質問を終わります。

○議長（宇田 瑛翔君） 田邊市長。

○市長（田邊 正幸君） 塩原巧弥議員のご質問にお答えいたします。

はじめに、ごみの分別であります。

五泉市のごみの処理につきましては、現在、五泉市、阿賀野市、阿賀町の2つの市と1つの町で構成する「五泉地域衛生施設組合」が行っています。

巢本地区にある現在のごみ処理施設は、建てられてから長い年月が経ち古くなったた

め、現在の場所から少し離れた所に新しい施設を建設をしています。施設の名前は「クリーンセンターあがのがわ」であります。来年4月1日に運転を始める予定になっています。

五泉市では、この施設を使い始めるにあたり、ごみに関する新しい取組みを先月10月1日から2つ始めました。

1つ目は、プラマークごみと言われる容器包装プラスチックごみだけを分けて集める分別収集です。容器包装プラスチックごみとは、プラマークが付いていて、スーパーやコンビニで販売しているお弁当やお菓子が入っているトレイや袋、洗剤のボトルなど、食べたり使い終わったりした後、捨てる容器や包装です。

分別収集は、これまで新聞紙や雑誌、段ボールなどの古紙、古着やペットボトルなどを大切な資源・材料として新しい品物に作り替えて再利用するリサイクルを行ってきました。現在、このリサイクル率は10パーセント程度ですが、これからプラスチックごみも分けて集めて、五泉市が目標とする令和8年度にはリサイクル率を14.6パーセントを達成したいと考えています。

2つ目は、燃えるごみ専用の指定袋の使用です。10月1日から来年3月までは、練習のための期間としておりますが、来年4月1日からは、燃えるごみは指定袋で出していただくことになります。

この2つの取組みにより、リサイクルを増やして燃やすごみの量を少なくすることで、ごみを燃やした時に発生する二酸化炭素を減らし地球環境や自然環境などへの影響を少なくすることができます。

より快適な生活環境を未来に残していけるよう、市民の皆さんと一緒に協力し合いながら取り組んでいきたいと考えています。

次に、環境問題への対策についてです。

五泉は昔からきれいな豊富な水に恵まれ、この水を利用して、お米やさといも、レンコン、チューリップなどの農産物や、絹織物、ニット製品が作られてきました。このように、私たちが生活するうえで欠かせない水や、きれいな山々・川などの貴重な自然環境を守り将来に引き継いでいくことが私たちの大切な役目です。

一方で、ここ数年、これまでに無かった猛暑や、集中豪雨、大雪などの異常気象が各地で発生をしています。これは、物を燃やすときに発生する二酸化炭素などにより、地球全体が暖くなる温暖化が影響しているといわれています。

五泉市としましても、先ほどのごみに関する新しい取組みを行いながら、豊かな自然環境や地球環境を保護し、将来にわたり安全で安心して暮らしていける五泉市であるとともに、さらに多くの人たちがお越しいただける五泉市となるようPRを行っていききたいと思います。

以上、塩原議員のご質問にお答えいたしました。ありがとうございました。

○議長（宇田 瑛翔君） 塩原議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○5番（塩原 巧弥君） 五泉市のごみの分別は現在何種類あるのでしょうか。

○議長（宇田 瑛翔君） 環境保全課長。

○環境保全課長（小島 健君） はい。お答えいたします。

現在燃えるごみの他に燃えないごみ、空き缶、空き瓶、また、新聞紙などの古紙などを行っておりまして、そこに、先ほど市長の答弁もありましたように、10月1日からプラマークごみを回収しておりますけども、これ含めまして、合計10種類の分別で行っております。

○議長（宇田 瑛翔君） 塩原議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○5番（塩原 巧弥君） ありません。

○議長（宇田 瑛翔君） 次に、議席番号6番、井上穂風君。

○6番（井上 穂風君） それでは、五泉小学校6年 井上穂風が質問します。

テーマは、「環境と教育」です。

私は、7月の「いけんのひろば」に参加しました。その中のテーマ「こどもの居場所」について、さらに考えてみました。現在の五泉市には、赤ちゃんや小さな子どもの居場所や高齢者が集まれる場所があるのに対し、私たち小中高生が気軽に集まる場所はないと感じます。これは、会議の中でもあげられていました。調べたところ、実際には子ども食堂や公民館、青少年育成センターなどありますが、そのどれもが「気軽に」利用できません。小中高生が気軽に利用するためには、遊び・学び・食事が必要だと私は考えます。子どもだけで安全に、いつでも無料でいける場所があれば、五泉市の未来を支える居場所になると考えます。

五泉市には、廃校や廃病院、空き家の問題もあります。これらを活用することもできるでしょう。五泉市の未来のために、それを支える私たちのために、必要な場所だと考えます。市長、ぜひ議題にあげて下さいませんか。

以上で壇上からの質問を終わります。

○議長（宇田 瑛翔君） 田邊市長。

○市長（田邊 正幸君） 井上穂風議員のご質問にお答えいたします。

まず、井上議員には、7月の「こどもワークショップいけんのひろば」にご参加いただき、大変ありがとうございました。

「いけんのひろば」は、子ども自身の意見を取り入れて「こどもまんなか」のまちづくりを進めるために、初めて開催をしたものであります。市内の小学5年生から高校生までの19人に参加いただき、新潟医療福祉大学の五泉出身者4人を含めた大学生10人と一緒に、自分たちの周りの身近なテーマについて、グループごとに楽しく、のびのびと意見やアイデアを出し合って、考えをまとめていただきました。ありがとうございました。

その結果、放課後や休日を楽しく充実して過ごすために、身近なところに友だちと気軽に遊びに行ける場所がほしいという意見を多くいただきました。今、国もこどもの居

場所づくりに力を入れておりますが、皆さんの声を聴いて、あらためて、こどもの居場所づくりが必要だと実感をいたしております。

また、去年、子育てをしている人に行った調査でも、「子どもの遊び場があるといい」という意見を多くいただきました。

五泉市では、現在、誰もが気軽に行ける場所をどのように作るのがよいか話し合っているところであります。公民館や青年育成センターなどを小中高生が気軽に利用できるような工夫することや、井上議員が提案された廃校や空き家を活用することも、ひとつの案といえます。

また、私が山形の白鷹町に視察に行った際にびっくりしたんですけども、町役場自体が子どもの居場所になっていました。

一方で、勉強を教えたり、食事ができたりするような居場所をつくるには、市役所だけの力だけでは難しいと思っています。市役所以外の会社の力、地域の人たちの力などを借りて、子どもたちにとって「ここが自分の居場所だ」と思えるところをいくつもあつる社会を目指していきます。

以上、井上議員のご質問にお答えをいたしました。ありがとうございました。

○議長（宇田 瑛翔君） 井上議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○6番（井上 穂風君） 私は以前、山梨県の韮崎市というところに住んでいました。

実は、今回の居場所の提案は、韮崎市の市民交流センター ニコリの中にある中高生限定の施設を参考にしました。ぜひ韮崎市の政策を五泉市の未来に取り入れていただけたら嬉しいです。

○議長（宇田 瑛翔君） 田邊市長。

○市長（田邊 正幸君） 大変貴重な提案ありがとうございます。

先進地域、韮崎市の例も含めまして、前向きに検討していきたいと思います。ありがとうございました。

○議長（宇田 瑛翔君） 井上議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○6番（井上 穂風君） ありません。

○議長（宇田 瑛翔君） 次に、議席番号7番、名取忍君。

○7番（名取 忍君） それでは、五泉特別支援学校中学部 名取忍が質問します。

テーマは、「鉄道や駅の活性化について」です。

ぼくは、鉄道に興味があります。五泉市には、旧蒲原鉄道やSLばんえつ物語など、鉄道に関する魅力的なものがたくさんあります。ぼくは、五泉市の鉄道をもっと便利に魅力的にしたいと思います。

今、五泉駅に来る電車は1時間に1本程度で、もっと本数を増やしたいです。五泉駅の利用者を調べてみると2000年には1日1,500人程度だったのが、最近は1,000人未満になっています。本数を増やすには、利用客を増やさなければならないので、五泉駅を魅力のある場所にしたいです。例えば、売店を設置して、五泉名産の里芋やレンコン、

ねぎなどの野菜やニット製品を販売したり、五泉市のキャラクターのいずみちゃんを名誉駅長にして、お客さんを出迎えたりするとよいと思います。

五泉市では、鉄道や駅の活性化について、どのように考えていますか。教えてください。

以上で壇上からの質問を終わります。

○議長（宇田 瑛翔君） 田邊市長。

○市長（田邊 正幸君） 名取忍議員の「鉄道や五泉駅の活性化」についてのご質問にお答えをします。

名取議員のいわれるとおり、五泉駅を利用する人はだんだん減っていて、最近では五泉駅から列車に乗る人数が1日あたり 950 人くらいになっています。

鉄道は仕事や学校や旅行へ行くためにとても大切な交通機関ですので、毎年 J R 東日本に、「利用しやすい五泉駅にしてください。」というお願いをしています。

また、五泉駅を利用する人が減ってしまうといけないので、駅の周りに、子どもの遊び場や学童保育の施設、高齢者の介護や健康の総合窓口である地域包括支援センターを作って、多くの人が駅を訪れて賑やかな場所になるように工夫をしています。

名取議員がお話いただいた五泉駅を魅力的な場所にするために売店で名産品を販売するという提案をいただきました。五泉駅は J R 東日本の施設なので、五泉市が売店などを設置することは難しいですが、市の施設である「ラポルテ五泉」で五泉の野菜やニット製品を買うことができますし、おいしいランチを食べることができますので、ぜひそちらも皆さんに行っていただきたいと思います。

そして、五泉の魅力を多くの方に知っていただくために、土曜日や日曜日に運行されている「SLばんえつ物語号」で P R 活動を行っています。今年の 5 月 18 日に五泉駅で五泉市のキャラクター「いずみちゃん」によるお出迎え、咲花駅では咲花温泉の旅館の皆さまによるお出迎えを行いました。大変好評でした。

皆さんも新潟市や福島方面へ行かれる時がありましたら、是非、鉄道を利用してください。

以上、名取議員のご質問にお答えいたしました。ありがとうございました。

○議長（宇田 瑛翔君） 名取議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○7 番（名取 忍君） 五泉駅から市内の観光地への交通手段を教えてください。

○議長（宇田 瑛翔君） 商工観光課長。

○商工観光課長（中村 康輔君） 名取議員にお答えいたします。

市では公共交通機関ということで、このようなふれあいバス、それから乗り合いタクシーのさくら号を運行しているところであります。さくら号につきましては、日曜日はちょっと運行してないんですけども、それらを組合せて、観光地のほうに行っていたければというふうに考えております。

以上、お答えいたしました。

○議長（宇田 瑛翔君） 名取議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○7番（名取 忍君） ありません。

○議長（宇田 瑛翔君） 次に、議席番号8番、二宮蒼馬君。

○8番（二宮 蒼馬君） それでは、五泉東小学校6年 二宮蒼馬が質問します。

テーマは、「ご城印で新しい観光を作る！」です。

ぼくは歴史が好きです。父と、県内や県外の城をよく見に行きます。城に行ったら 300 円単位で買えるご城印を必ず買います。ご城印とは城の名前が書かれた紙で、神社のご朱印のお城バージョンです。ご城印を買っている時ふと思いました。ぼくと同じようにご城印を買っている人がたくさんいるということです。そこで、五泉の城のご城印を買えるようにしたら、たくさんの城好きが来ると思います。

五泉市内には五泉城、村松城、雷城などがあります。五泉城には上杉家の有力な家臣が住んでいました。村松城は堀家が住んでいて、戊辰戦争などでも活躍しました。ラポルテ五泉や、さくらんど温泉、地域の資料館で買えるようにすれば、城を見にきた人がお土産をついでに買ってくれると思います。ご城印は、印刷するだけで良いのでとても簡単に作れます。なのでぼくはご城印を作って五泉市の新しい観光が生まれると思います。市長の考えをお聞かせください。

以上で壇上からの質問を終わります。

○議長（宇田 瑛翔君） 田邊市長。

○市長（田邊 正幸君） 二宮蒼馬議員のご質問にお答えいたします。

ご城印で新しい観光を作ることにについてであります。

二宮議員のご説明のとおり、ご城印とは、お城の名前や城主の家紋などが印刷されたもので、神社やお寺を参拝した証として配られているような御朱印と似ていますが、現在はお城そのものがなくなっている場所が多いため、御朱印と違い観光案内所やお土産店でも買うことができます。全国各地で大変人気があり、県内でも上越市の春日山城や高田城などのご城印が1枚 300 円で販売をされております。

五泉市内にも、五泉八幡宮のところに五泉城、城跡公園のところに村松城、また村松川内の雷山には雷城があったほか、たくさんのお城があります。その内、ご城印ではありませんが、五泉八幡宮で配られている御朱印は季節や月ごとにデザインが変わっていて、いずれのデザインにも五泉城があった場所であることを表示されています。

また、村松城があった城跡公園内に設置している村松郷土資料館では、村松城の模型や絵図面のほか、村松藩を治めた堀家ゆかりの資料などを展示しており、村松城について紹介をしております。

そこで、提案していただきましたご城印の発行については、観光につながる手段の一つではありますが、五泉八幡宮や村松城の模型展示などにご協力をいただいた関係団体の皆さんからもご意見を聞きながら考えていきたいと思っています。

なお、二宮議員の言われるとおり、お城の好きな人がたくさんいることはよくわかっ

ていますので、五泉城や村松城も含めて、五泉市の歴史・文化を多くの人たちから知っていただけるように情報発信にも力を入れ、五泉市への観光増加につながるように取り組んでまいります。

以上、二宮議員のご質問にお答えいたしました。ありがとうございました。

○議長（宇田 瑛翔君） 二宮議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○8番（二宮 蒼馬君） 村松城には年間を通して何人が訪れていますか。

○議長（宇田 瑛翔君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（風間 章君） 村松城がありました現在の村松郷土資料館でお答えをさせていただきますが、年間、令和4年度は1,300人余り、令和5年度は1,100人余りが訪れていただいております。

なお今年度は10月までで、昨年度と比べると約170人多く訪れていただいております。

○議長（宇田 瑛翔君） 二宮議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○8番（二宮 蒼馬君） ありません。

○議長（宇田 瑛翔君） 以上で、Bグループ4人の市政一般に関する質問が終わりましたので、しばらく休憩いたします。

午後 2時27分 休憩

午後 2時40分 再開

〔議長が交代し中野議長が議長席に着く〕

○議長（中野 勝吏君） 再開いたします。

私は、ただいまより議長を務めさせていただきます、川東中学校の中野勝吏と申します。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、休憩前に引き続きましてCグループの市政一般に関する質問を行います。

はじめに、議席番号9番、小柳龍海君。

○9番（小柳 龍海君） それでは、五泉南小学校6年 小柳龍海が質問します。

テーマは、「五泉市の発展のために、今あるお店を守ること」「五泉市の魅力をもっとPRする方法」についてです。

ぼくは、お寿司が好きです。しかし、ぼくが好きなお寿司屋さんは、ぼくが幼い時に廃業してしまいました。今後も廃業に追い込まれるお店が出てくとも予想されます。今から新しいお店を誘致するのは、正直難しいと思います。お寿司屋に限らず、今あるお店を大切にされた方が良くと考えます。お店が廃業に追い込まれないための対策をお聞かせください。

また、五泉市には、魅力あふれるイベントがたくさんあります。例えば今年度「水かけ祭り」が開催されました。ぼくは、新津駅にポスターを見付けました。しかし、五泉市以外の友達と話すと、五泉市の良さがあまり知られてないことに気付きました。現在はSNSも普及しています。ポスターの他にもSNSを効果的に利用して魅力を発信す

ることもできると考えます。市長様、お考えをお聞かせください。

以上で壇上からの質問を終わります。

○議長（中野 勝吏君） 田邊市長。

○市長（田邊 正幸君） 小柳龍海議員のご質問にお答えいたします。

まず、小柳議員も7月の「こどもワークショップいけんのひろば」に参加頂き、ありがとうございました。

さて、はじめに、お店が廃業に追い込まれないための対策についてです。

個人でお店や事業を行っている人や、会社が事業をやめてしまうことを「廃業」といいます。廃業するには色々な理由があると思います。例えば、お店を引き継いでくれる人がいない場合や、お客さんが来てくれないので、儲からないからなどの理由が考えられます。

でも、お客さまがたくさん来て、とって儲かるお店だったら、お店を代わりに続けてくれる人も見つかると思いますし、皆さんもやりたくなりますよね。たくさんお客さまが来る魅力あふれるお店であれば廃業しないでずっとお店を続けることができると思います。

魅力あふれるお店作りを頑張っているお店や商店街を五泉市も一生懸命応援していますので、みんなで五泉市を盛り上げていきましょう。

次に、SNSの効果的な発信についてです。

五泉市の魅力を知っていただき、たくさんの人から来ていただくために、五泉市、五泉市観光協会、ラポルテ五泉などでは、いろいろなイベントを行っています。「水かけ祭り」もそのひとつであります。イベントのお知らせする方法は、ポスターやチラシのほか、広報ごせんやホームページ、そして、ラインやエックス、旧ツイッターですが、インスタグラムなどのSNSを使ってPRをしています。

ぜひ皆さんも、この3月に新しく変えた五泉市観光協会のホームページを一度見てください。たいぶ前と違って、動画だとかいろいろあって、たくさんの人が見に来てくれます。ページビューと言いますが、それも1.5倍ぐらい増えています。

これからも魅力あるイベントを観光協会などと一緒に、ホームページやSNSなどを活用し、五泉のPRをしていきます。

以上、小柳議員のご質問にお答えいたしました。ありがとうございました。

○議長（中野 勝吏君） 小柳議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○9番（小柳 龍海君） 廃業に追い込まれないための工夫を応援するとおっしゃっていましたが、どのように具体的にどんなことをするのかできれば教えてほしいです。

あと、このSNSの部分で僕は一つ提案があります。この五泉市の魅力をユーチューブのCMで発表するっていうのはどうでしょうか。

○議長（中野 勝吏君） 商工観光課長。

○商工観光課長（中村 康輔君） お店の紹介などについては様々な方法でやっておりま

すけども、現在、五泉のスタンプラリーということで、スタンプを集めて応募すると商品をもたらるようなイベントを行っております。この中でもお店のところに行って食べていただいて、買っていただいてスタンプを押すというような取組を行っているところであります。

あとユーチューブに関しましては、非常に貴重なご意見でございますので、今後の参考にさせていただきたいと思っております。どうもありがとうございました。

○議長（中野 勝吏君） 小柳議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○9番（小柳 龍海君） 五泉市以外の方がそのスタンプラリーとかの内容を知るためには、どうしたらいいですか。

○議長（中野 勝吏君） 商工観光課長。

○商工観光課長（中村 康輔君） 市のホームページ等も行っておりますし、観光協会のホームページでも行っております。スタンプラリーに応募していただいた方なんですけども、全体の40%ぐらいの応募がですね市外の方から応募頂いておりますので、かなり市外の方も五泉にお越し頂いて、いろいろ食べて買っていただいているなというふうに感じております。

以上お答えしました。

○議長（中野 勝吏君） 小柳議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○9番（小柳 龍海君） ありません。

○議長（中野 勝吏君） 次に、議席番号10番、宮川開君。

○10番（宮川 開君） それでは、巢本小学校6年 宮川開が質問します。

テーマは、「放課後みんなが集まる所」です。

ぼくは、五泉市に駄菓子屋と、みんなと勉強する所を合体させたような所を作った方がいいと思います。なぜなら放課後に家の人がない時、友達などと勉強できるし安くて美味しい駄菓子屋があるので少し小腹を満たすことができるのでいいと思いました。ぼくの地域には公園のようなものはありません。あってもお宮にブランコが1つあるぐらいなので、各地域に勉強する場所のある駄菓子屋を一つ置くと五泉市の小学校などが行きやすくなると僕は思います。そして大人も行きやすくなるような工夫をすれば、大人との交流ができると思います。あと時間が苦手な子のために放課後のチャイムを冬も夏も同じにすれば、そのチャイムが友達と遊んでいる時の帰りの時間だとわかりやすくなると思います。この提案について市長の考えをお聞かせください。

以上で壇上からの質問を終わります。

○議長（中野 勝吏君） 田邊市長。

○市長（田邊 正幸君） 宮川開議員のご質問にお答えいたします。

はじめに、放課後みんなが集まる場所についてです。

現在、五泉市には、子どもたちの放課後の居場所として学童クラブや寺子屋がありますが、誰もが自由に通える場所ではありません。7月の「こどもワークショップいけん

のひろば」では、放課後や休日を楽しく充実して過ごすために、身近なところに友だちと気軽に行ける場所がほしいという意見が多くありました。また、去年、子育てをしている人に行った調査でも、「子どもの遊び場があるといい」という意見を多くいただきました。

今、国もこどもの居場所づくりに力を入れていますが、五泉市にも、放課後や休日に、どの子どもも、自分で選んで行くことができる施設があるとよいと考えています。

五泉市では、現在、誰もが気軽に行ける場所をどのように作るのがよいか話し合っているところです。宮川議員が提案されたように、おいしい駄菓子が食べられて、友だちと一緒に勉強もできる場所があれば、とても魅力的ですね。

また、図書館やスポーツ施設、文化施設、公園なども、居場所のひとつであると考えています。五泉市では、これらの施設で子どもや親子が楽しめる教室やイベントを開催して、子どもと大人と一緒に過ごす、交流ができる機会にしています。

先ほど井上議員のご質問でもお答えしましたが、勉強を教えたり、食事ができたりするような居場所をつくるには、市役所の力では難しいです。市役所以外の会社の力、地域の人たちの力なども借りて、子どもたちにとって「ここが自分の居場所だ」と思えるところがいくつもある社会を目指していきます。

続いて、午後のチャイムについてです。

現在、夕方の防災行政無線の定時チャイムは、4月から8月までは午後6時に、9月から3月までは午後5時に鳴らしています。これは、夏場は日が長く、冬場は日が短く、季節によってチャイムを鳴らす時間を変えているためです。チャイムが鳴る時間は、日暮れが迫り、暗くなってくる時間でありますので、帰り時間の目安としてもらいたいと思っています。定時チャイムが流れる防災行政無線について、様々なご意見をいただいておりますので、宮川議員のご意見も今後の参考にさせていただきます。

以上、宮川議員のご質問にお答えいたしました。ありがとうございました。

○議長（中野 勝吏君） 宮川議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○10番（宮川 開君） 公共施設などや僕が先ほど言ったようなところにフリーWi-Fiを置くことはできるでしょうか。

○議長（中野 勝吏君） 企画政策課長。

○企画政策課長（塚野 一也君） フリーWi-Fiのお話ですが、今ですね公共施設ということで、体育館、図書館などにフリーWi-Fiのほう設置をしております。また今後についてもですね、これからまた検討をですね進めていきたいと考えております。

○議長（中野 勝吏君） 宮川議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○10番（宮川 開君） ありません。

○議長（中野 勝吏君） 次に、議席番号11番、中野恭一君。

○11番（中野 恭一君） それでは、橋田小学校5年 中野恭一が質問します。

テーマは、「特徴のある店で五泉市を賑やかにしたい」です。

ぼくが、五泉市に足りないと思うものは、本屋さんやおもちゃ屋さん、駄菓子屋さんなどのお店です。コメリ書房やドラッグストア、スーパーマーケットなどの大きな店は、ありますが、街中の商店街には、お店が少なくなっていると思います。

ぼくが住んでいる橋田地域には、「エスマート」というお店があります。大きなお店ではありませんが、他のお店にはない品物がたくさんあって、市外からのお客さんもたくさん来ています。だから、例えば、マンガだけの本屋さんとか、駄菓子を食べながら遊べるおもちゃ屋さんとか、特徴のあるお店をもっと増やして、お客さんがたくさん集まるようになれば、五泉市がもっと賑やかになって、景気もよくなると思いますが、どうでしょうか。

以上で壇上からの質問を終わります。

○議長（中野 勝吏君） 田邊市長。

○市長（田邊 正幸君） 中野恭一議員のご質問にお答えします。

中野議員がいわれるとおり、お客さまがたくさんお店に来て、たくさん売れるようになれば、景気もよくなりますし、五泉市が賑やかになると思います。

中野議員の住んでいる橋田地区にある「エスマート」、私も橋田出身でありますのでよく行きますが、他のお店で売っていない、魅力のある商品がたくさん販売しているので、市外からもたくさんお客さんが来て、とても賑やかなお店になっていると思います。

中野議員が考えてくれたような、マンガだけの本屋さんや、駄菓子を食べながら遊べるおもちゃ屋さんなど、みんなが「行きたい」と思う魅力のあふれるお店を皆さんが作れば、市内だけでなく市外からも、たくさんのお客さんが来て、賑やかなまちとなると思いますし、たくさんの商品が売れば景気も良くなると思います。

お店に限らず、おいしいラーメン屋さんも五泉にはたくさんありますよね。いつも列をなしてるお店も、ラーメン屋さんもたくさんあります。それだけおいしいというものが人気になれば、たくさんの人が来ますし、賑やかになっていることも事実であります。

五泉市では新しくお店を始める人に対して、お店を造るときの費用などを負担し、お店を出しやすいような応援をしています。いろいろなお店ができて、たくさんのお客さんが来る元気な五泉市になるように、これからも取り組みを続けていきます。

以上、中野議員のご質問にお答えいたしました。ありがとうございました。

○議長（中野 勝吏君） 中野議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○11番（中野 恭一君） ありません。

○議長（中野 勝吏君） 次に、議席番号12番、宇田瑛翔君。

○12番（宇田 瑛翔君） それでは、村松桜中学校3年 宇田瑛翔が質問します。

テーマは、「観光資源の需要」です。

五泉市を代表する観光名所であり、日本桜名所100選にも選ばれている村松公園。そこで質問です。山口議員のおっしゃった五泉市の魅力的なイベント、菅原議員のおっしゃった人口減少に対する対策案にもなりうる村松公園をもっと認知、地域として推して

いくために、取り組んでいることはありますか。田邊市長、お答えをお願いします。

以上で壇上からの質問を終わります。

○議長（中野 勝吏君） 田邊市長。

○市長（田邊 正幸君） 宇田瑛翔議員のご質問にお答えいたします。

五泉市を代表する観光名所である村松公園を広く知ってもらうための取り組みについてであります。

桜は古くから五泉市民に親しまれ、五泉市の木として制定をしています。

宇田議員が通われている村松桜中学校も桜の名所である村松公園の近くにあることから、親しみのある桜の文字が使われています。

村松公園は、明治 39 年 10 月に日露戦争で日本が勝利し、その記念に造られた公園です。日本さくら名所 100 選に選ばれ、4 月には約 3,000 本の桜が花開きます。桜の約 9 割は、薄いピンク色の花びらのソメイヨシノという品種ですが、枝の先に数多く花がつき、稲穂のような姿を見せる「穂先彼岸八重桜」など珍しい桜も見ることができます。

毎年、桜が咲く時期に「村松公園桜まつり」が開催されています。特産売り場や屋台が立ち並び、特設ステージでイベントが行われ、にぎやかなお花見を楽しむことができます。

そして、夜には、ライトアップされ、昼間とは違った幻想的な世界が楽しめます。もう既に行ったことがある方もいらっしゃると思いますが、ぜひ昼間と夜の村松の公園の桜を行ってみてください。

今年、新しい取り組みとして、村松公園の向かいにあります新潟大学農学部の畑に、菜の花を育て、村松公園の桜と菜の花のコントラストによる「映えスポット」で、公園の魅力をさらに高めるような取り組みをいたしました。ピンクと黄色のコントラストは大変すばらしい光景でありました。

秋の村松公園も魅力がたくさんあります。11 月の 10 日には、村松公園を周回をする紅葉マラソンもありますし、真っ赤に染まるモミジの葉が落ち、まるで紅葉の絨毯のように公園を彩ってくれます。

四季を通じて、魅力を感じとれることができる村松公園ですが、最近では、元気のない桜の木が見られるようになっていきます。桜の木を元気に回復させるため、「村松公園桜更新計画」をつくり、枝を整えたり、危ない木を切ったりしています。今後は、新しい桜の木を植えていく予定になっています。

村松公園の美しい桜が 50 年、100 年先も見られるように、公園内の整備を計画的に進め、魅力的な公園をずっと守り続けていきます。

以上、宇田議員のご質問にお答えいたしました。ありがとうございました。

○議長（中野 勝吏君） 宇田議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○12番（宇田 瑛翔君） 桜と一緒に育てている菜の花があるという話でしたが、その菜の花が植えてあるということを知ってもらうために取り組んでいることはありますか。

○議長（中野 勝吏君） 商工観光課長。

○商工観光課長（中村 康輔君） 市のホームページ、それからフェイスブック、インスタグラム等でも発信をしておりますし、観光協会それからラポルテ五泉などにもお願いをいたしまして、SNSで発信をするようにしているところでございます。

以上お答えしました。

○議長（中野 勝吏君） 宇田議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○12番（宇田 瑛翔君） ありません。

○議長（中野 勝吏君） 次に、議席番号13番、鈴木一颯君。

○13番（鈴木 一颯君） それでは、村松小学校6年 鈴木一颯が質問します。

テーマは、「こどもが安心安全に楽しく遊べる市」です。

今も五泉市には、たくさんの公園がありますが、遊具が少なかったりスポーツが出来る場所が少ないと思います。

ぼくは、バスケットボールをしているのですが、友達と安全にバスケットができるような公園を作ってほしいです。

また、五泉市は自然が豊かなので、親子で楽しく安全にキャンプが出来る場所や休憩スポットなどを増やしてほしいと思います。

五泉市は、親子で楽しめる体験活動をたくさん行っているのですが、こういった施設が増えればもっと家族と過ごす時間が増えると思います。市長の考えをお聞きかせください。

以上、壇上からの質問を終わります。

○議長（中野 勝吏君） 田邊市長。

○市長（田邊 正幸君） 鈴木一颯議員のご質問にお答えいたします。

五泉市には栗島公園や村松公園のような、都市公園と呼ばれる大きな公園が10か所あります。例えば、鈴木議員の通う村松小学校の近くの城跡公園も都市公園のひとつであります。

それぞれの公園には、ブランコや滑り台、シーソーなどの定番の遊具が設置されていることをはじめ、一つの遊具で登ったり、滑ったりなどを楽しむことができる複合遊具が設置されている公園、青空の下で気軽にストレッチなどの運動ができる健康遊具が設置されている公園もあり、いろいろな遊具を楽しむ事ができます。しかし、遊具などの公園施設は、昭和の後半から平成の初めにかけて整備され古くなっているものが多いので、公園施設を長く使うための計画を立てて、順番に整備を行っています。

次に、バスケットコートについてであります。今は私はこのような体形ですが、橋田中学校バスケットボール部のキャプテンでした。市内の公園には、サッカーや野球のできる公園がありますが、バスケットボールができる公園は今はありません。以前は五泉地区にある南公園にバスケットコートが整備をされていましたが、ボールの弾む音や一部の利用者による迷惑行為に対して、近隣住民よりご意見をいただくなどしたため、現在ではゴール板とリングを外し、使用できない状態になっています。子ども

たちが安全に安心して体を動かせるようなスポーツ設備について、設置できる場所や、みんなで楽しく使えるルールをいろいろな人の声を聞きながら考えていきたいと思います。

次に、キャンプができる場所や休憩スポットについてです。市内にはキャンプができる場所として、早出川の上流の川内にある東光院や仙見川の河川公園、森林公園、チャレンジランド杉川などがあります。豊かな自然の中で夏は川遊び、秋には紅葉を楽しみながら気軽にキャンプができる人気のスポットとして、こどもから高齢者、家族連れや様々な団体が市内外から訪れ、楽しい時間を過ごせる場所となっています。また、ベンチやテーブル、東屋などの休憩スポットもありますので、自然の中を散策したりサイクリングの途中に立ち寄って休憩することもできます。しかし、これらの施設についても古く傷んでいるものもあるため、環境整備に努め、皆さんがより楽しめる場所として提供をしてみたいと思います。

以上、鈴木議員のご質問にお答えいたしました。ありがとうございました。

○議長（中野 勝吏君） 鈴木議員、ただいまの回答内容について、再質問はありますか。

○13番（鈴木 一颯君） キャンプができる場所のことですが、村松の矢津の河川敷などが広いと思うので、設置することは可能ですか。

○議長（中野 勝吏君） 都市整備課長。

○市長（田邊 正幸君） 村松地区の矢津ということで、早出川が流れているところの公園ですけども、矢津河川公園というものが現在ございます。そこでは週末などを中心に、家族連れなどの方がキャンプを楽しんで頂いておりますので、今後もそういったことが楽しめるように環境整備に努めていきたいというふうに思っております。

○議長（中野 勝吏君） 鈴木議員、ただいまの回答内容について再質問はありますか。

○13番（鈴木 一颯君） ありません。

○議長（中野 勝吏君） 以上で市政一般に関する質問はすべて終了いたしました。しばらく休憩いたします。

午後 3時12分 休憩

午後 3時25分 再開

〔議長が交代し宇田議長が議長席に着く〕

日程第4 議第1号

○議長（宇田 瑛翔君） 再開いたします。

次に、日程第4、議第1号 こどもワークショップいけんのひろばにおける提言の反映について を議題とします。

当局の説明を求めます。田邊市長。

○市長（田邊 正幸君） ただいま上程になりました、議第1号「こどもワークショップいけんのひろば」における提言の反映について、ご説明申し上げます。

議員の皆さんからご質問などをお答えしてお話ししておりますが、令和6年7月21日に行われました「こどもワークショップいけんのひろば」の提言を、今後のこども施策に反映することについて承認を求めるものであります。

「こどもワークショップいけんのひろば」は、子どもたちの意見を直接聴き、それらをできるだけ取り入れて「こどもまんなか」のまちづくりを進めるために、初めて開催をしたものであります。市内の小学5年生から高校生までの19名に参加をいただき、新潟医療福祉大学の大学生10名と一緒に、自分たちの周りの身近なテーマについて、グループごとに楽しく、のびのびと意見やアイデアを出し合って、考えをまとめていただきました。

放課後を楽しく充実して過ごすために、子どもだけで安全に行ける場所や家から近くで気軽に集まれる場所などを望む意見、こどもの人権が守られるように、相談できる人を増やす、親子で受ける人権の授業を開催するなどの意見、希望する子育てができるように、仕事と子育ての両立や、父親が育児休暇を取ることを推進するなどの意見、また、観光戦略では、たくさんある五泉の魅力を絞って伝えることが大切などの意見・考えがまとめられました。

これらの意見や考えを受けて、「こども達が放課後等に気軽に集まれる居場所づくり」、「こどもの権利が守られるための支援の充実」、「仕事と子育てが両立できる環境づくり」この3点を、今後のこどもに関する市の取り組みに生かしていくこととし、こども計画の作成をはじめ、事業を進めていきます。

以上、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（宇田 瑛翔君） これより議案に対する質疑に入ります。ご質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宇田 瑛翔君） ないようでありますので、議案に対する質疑を終結いたします。

討論に入ります。ご意見ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宇田 瑛翔君） ないようでありますので、討論を終結いたします。

採決をいたします。

議第1号 こどもワークショップいけんのひろばにおける提言の反映については、原案のとおり承認することに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（宇田 瑛翔君） ご異議なしと認めます。

よって、議第1号は原案のとおり承認されました。

日程第5 講評

○議長（宇田 瑛翔君） 次に、日程第5、講評です。

本日のご来賓を代表されまして、五泉市校長会会長 山崎 浩志 様より講評をお願いいたします。

○五泉市校長会会長（山崎 浩志君） 五泉市校長会会長を務めております五泉小学校校長の山崎浩志です。今日は本当にありがとうございました。

私はこの五泉市議会に足を踏み入れるのは今日が初めてでした。おそらくこども議員の皆様も今日が初めてだと思いますよね。この場所で皆さんの学校生活のこととか、普段の暮らしのことなどが話し合われて、実現しているんです。身近な場所にこういう所があるということを頭の中に入れていてください。今日はきっと一生の思い出になったかと思います。

さて、議員の皆さん、10年後、20年後、30年後、自分は一体何歳になってるか、頭の中浮かびますよね。皆さんは、20何歳、30何歳、40何歳になっています。大人として、社会人として、様々な世界に踏み出し、社会を支え、活躍する、そんな人になっているはずですよ。皆さんには、10年後、20年後、30年後の未来を作っていく、そんな役割があると私は考えています。

では10年後、20年後、30年後はどんな社会になっているのでしょうか。今住んでいる五泉市はどうなっているのでしょうか。なかなか今では想像はつかないかもしれません。でも、間違いなく変わっているはずですよ。そして、今よりもよい社会、よい五泉市になっていってほしいと願う人がほとんどだと私は考えています。

どうすればそんな社会、五泉市にすることができるのでしょうか。まず第一歩はこうなってほしいな、こうありたいという思いや願いを持つことだと思います。そして、その思いや願いを言葉や声に出して表現をすること。そして、さらには何かしら行動に表すこと、こうだと思います。

1週間前に選挙がありました。選挙を通して、自分の考えを示すというのも一つの行動のあらわれ方だと私は思います。何も言わない、何もしないままでは変わっていきません。皆さんもぜひ頑張ってほしいと思っています。

さて今日のこども市議会では、皆さんの、こんな社会、こんな五泉市になってほしいという思いや願いが言葉や声に表現をされ、私たち大人に本当にたくさん伝わってきました。13人の皆さんの質問や意見を私なりにざっと整理をしてみました。3つにまとめられました。

1つ目は、魅力の発信です。五泉市の自然、産業、特産物、名所などをイベントや施設を通して他の地域に伝えたい、知ってもらいたいという思いがたくさん語られました。中には、いずみちゃんを名誉駅長にするとか、ご城印で観光客を呼び込むとか、ユニークなお店や休憩スポットをつくるなど、目のつけどころの面白い意見もありました。魅力があれば子育てがしやすく、子どもも増えるという人が減っていくという大きな問題に切り込んだ意見もありました。

2つ目は、安心安全なまちづくりです。防災やごみの分別、リサイクルといった問題を切り口に、誰もが安心安全で住みやすいまちづくりを考えているという意見がありました。病院が少なく、高齢者が困っているという問題を解決する方法として、私は全く

思いつきませんでしたが、ウーバーイーツの病院版みたいなものを提案する人もいました。素晴らしかったです。

3つ目は、居場所づくりです。小中高校生が集まれる場所、放課後に子どもと大人が集まれる場所をつくってほしいという質問・意見がありました。自分が日々感じている体験から生まれた意見だと私は受け止めました。廃校や終わってしまった病院、空き家を活用したり、遊びと学びとおやつを組合せた素敵な居場所をつくりたいというアイデアもありました。本当に夢がある意見でした。

皆さんの意見はどれも素晴らしかったし、希望の持てるものでした。大人顔負けの問題の捉え方もあり、子どもならではの解決策がたくさんありました。それは皆さんが社会をしっかりと見つめ、五泉市が大好き、五泉市を誇りに思うという切なる気持ちが込められていたからに他ならないと思います。何よりも皆さんの意見や質問を出し、真剣に考える姿に私たち大人のほうが元気づけられました。

今、五泉市こども計画がつくられています。皆さんの意見がきっとその中に反映されるんだろうと思っています。それが、田邊市長が最初に話した「こどもまんなか」の実現にもなると私も期待をしています。

これからの社会、五泉市の未来をつくる皆さんの姿に心から拍手を送ります。そして、こどもの質問に真摯に回答していただいた田邊市長を初め五泉市当局の皆様に感謝を申し上げます。大変ありがとうございました。

公表を終わります。

○議長（宇田 瑛翔君） 山崎様、ありがとうございました。以上で、本議会の日程は全て終了いたしました。これにて、五泉市こども市議会を閉会いたします。

午後 3時37分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

議 長 塩 原 巧 弥

議 長 中 野 勝 吏

議 長 宇 田 瑛 翔

署 名 議 員 山 口 木乃香

署 名 議 員 菅 原 朱 佑

署 名 議 員 佐 藤 綾 音